

2022

No. 10

SHODAI

# 学園広報誌 商大

SHODAI



学校法人 高崎商科大学  
since 1906

高崎商科大学大学院

高崎商科大学

高崎商科大学短期大学部

高崎商科大学附属高等学校

高崎商科大学佐藤幼稚園

〒370-1214

群馬県高崎市根小屋町741

TEL 027-347-3399

## Contents

- 高崎商科大学・高崎商科大学短期大学部 学長 退任のご挨拶 (P 1-2)  
— 本学とともに歩んで35年 —
- 高崎商科大学トピックス (P 3)  
高崎商科大学「大学院商学研究科」について
- 高崎商科大学短期大学部トピックス (P 4)  
「IPPOプロジェクト」に参加して
- 附属高等学校トピックス (P 5)  
土曜講座開講 ～主体的で多様な学びの場～
- 佐藤幼稚園トピックス (P 6)  
高崎市花いっぱいコンクール 市長賞に輝く
- 附属高等学校トピックス (P 7-8)  
高校総体等の結果
- 学園情報 (P 9-10)
- Campus Information (P 11)

## 学長退任のご挨拶

高崎商科大学・高崎商科大学短期大学部 学長

瀧上 勇次郎 Yujiro Fuchigami

### — 本学とともに歩んで35年 —



昭和63（1988）年度の高崎商科短期大学の開学以来今日まで、私は35年の長きにわたり大変お世話になってまいりましたが、令和4（2022）年度をもって退任致すこととなりました。みなさまに温かいご指導とご厚情を賜り、心から感謝を申し上げます。

#### 神戸から高崎へ

振り返りますと、昭和62（1987）年の初夏になりますが、森本純生先生（当時・法人事務局長）に勤務先大学のある神戸にお出でいただいたのが、私の「商大人生」の始まりでした。「経済学の担当者としてどうか、21世紀には四年制大学にしたい」との展望を交えたお声かけがありました。他の大学からも話がありました、先生の大変ありがたい

お誘いに身を預けました。

船の汽笛がポーッと聞こえる100万ドルの夜景の街・神戸から、海なし群馬県にきて戸惑いもありましたが、さすがに交通の要衝、商都・高崎、日本のど真ん中であって陽光あふれる開放的な土地柄にすぐに溶け込むことができました。まもなく、あの「阪神・淡路大震災」があって、人の運命の不思議な「巡り合わせ」を思ったのでした。

#### 短大の頃の思い出

昭和63（1988）年、記念の第一回入学式の日、4月ながら真新しい校舎には雪が舞っており、周辺部分の残土に積雪があったのを思い出します。式典では、依光良馨初代学長のヒューマンで格調高い告辞がありました。森本公生理事長（当時）からは、学園の光輝ある歴史と伝統、地元の人材育成の重要性について告辞があり、今日につながる本学の建学の精神、教育理念が高らかに宣言されました。

いま、短大初期の頃のことが懐かしく思い出されます。「フレッシュマン・キャンプ」では、新入生を連れて教職員みんなで大型バス5台に乗り、校歌（依光学長作詞、芥川也寸志作曲）を歌いながら善光寺や小布施に行きました。スキー合宿では菅平高原や岩原に行き、ゼミ合宿には清里、軽井沢、奥日光などへ出かけました。奥日光では旅館の大広間に「歓迎！高崎商科大学瀧上ゼミご一行様」との大書きの看板があり、照れ臭さくも嬉しかったのを覚えています。ゼミ一期生の小濱英之君は、ご存じ「ワークマン」社長。あの頃の学生たちは、天衣無縫の行動派タイプが多かったような気がします。また、アユ釣りも思い出深いです。森本純生先生に烏川の友釣りに連れて行ってもらい、お昼はみんなで「アユ・バーベキュー大会」を堪能しました。先生に教わりながらも、私はなかなか釣れず川原の石ころで遊んでおりました。

初代学長の依光先生からは、突然自宅に電話があり「博士号を取りなさい」と軟弱な私に厳しいカツ、数年かけて取得できました。その後はお陰様で、紀要に創刊号から今



年度の37号まで欠かさず投稿できました。先生のご葬儀では、感謝の気持ちも込めて弔辞を読ませていただきました。

## 四年制大学、開学

さて、短大開学の時期は、いわゆる「バブル経済」のただ中、永遠の景気が約束されたかのような活気に加え、「団塊ジュニア世代」が入学してくるご時世でした。本学でも「期間付き定員増」の措置が取られ、一方では、「男女雇用機会均等法」社会の流れがあり、女性の四大志向も顕著になっていきます。森本純生理事長（当時）の構想される四年制大学の設置も現実味を帯びてきたのです。森本淳法人大本部長（当時）を中心に文科省への設置認可申請の業務が進み出しました。学部は「経営環境」か「流通情報」かの二つが有力でした。私は流通新時代を反映する後者を建議し、申請書類の「学部設置の趣旨」を書かせてもらいました。学長予定者の確井彊先生のご尽力により教員組織ができあがり、平成13（2001）年4月、待望の開学。同時に、短期大学は短期大学部になりました。

今世紀に入り、18歳人口は、横ばい状態の平成12（2000）～14（2002）年を過ぎると減少傾向が加速。開学して当初は苦戦しながらも入学者は徐々に増えていきました。開学時の「流通情報学部」から商都・高崎にふさわしい現在の「商学部」になって、関係職員の方々の懸命のご努力が実り、全国版「Haul-A」、「3.5本の矢」の二大プロジェクトもスタート、定員を大きく超えるようになりました。短大部は、学科コースの大改革により平成18（2006）年度には空前の入学者を記録し、文科省の助成金を辞退するほどでしたが、その後も附属高校のご支援も得て、安定した入学者が続いています。

地元から多くの入学者がありますのは、優れた地域貢献ができてきている証だと思います。「富岡製糸場」の世界遺産登録のときには、上信電鉄さんと何度も「地域再生列車シンポジウム」を開催したこともあり、県内初の文科省「大学COC事業」に採択されました。「地元の信用がなくては、全国からの入学者はない」との学園の基本思想のもとに、私は「地元信頼第一」、「全国オンリーワン」を長期ビジョンとし、年度ごとの「運営方針」を提起してまいりました。

## 「今月の一言」

学生生活は勉学と並んで部活が彩を添えます。学園の強化指定クラブとなった空手道部、その顧問を拜命。安齊義宏監督（附属高校長）のご指導により、部員たちは関東大会優勝、全日本準優勝など素晴らしい成績を収めてきました。

ところで、こうした選手たちの活躍や学内トピックスを

捉えて、平成22（2010）年度より本学ホームページに「今月の一言」をアップし続け、全部で160本ほど。「専門の経済のことを書いたらいいですよ」との声もありましたが、「学長ブログ」ですから、「商大ニュース」に関連した発信を心がけました。県内の高校や「Haul-A」締結で全国各地の高校を訪問したとき、読んでくださっている方が遠方にもおられるのが分かり、とても嬉しく励みになりました。新型コロナになって、成長過程にある学生への思いから「一言」に力が入りましたが、もう少し対面授業ができなかったか、との不惜身命の思いが今でも脳裏を去来します。専門の勉学、人間性を磨く、社会に貢献するという人材の育成は、基本的に対面でなくてはやはり困難だからです。

## 地域貢献・交流

短大初期のうちは、森本純生先生から高校訪問の作法の手ほどきを受け、また大学開設時には、森本本部長はじめ教職員ともども私も多くの高校を訪ねました。最初のうちは「魅力がなければ薦められません」「資格・検定の実績をあげるように」などと言われることもありましたが。教育現場を通して現実を知ることの大切さを肌で感じ、Haul-Aではわが国商業教育の現状と課題を理解する体験となりました。地方では、勉学の機会に恵まれない多くの優秀な生徒さんに会います。本学に入学され30名を超える「公認会計士論文式試験」合格に繋がっています。学園は時宜を得た新校舎（SKY）を建設、「経理研究所」も設置し「会計教育のメッカ」をめざす王道が築かれました。SKYは、地元の有力な設計会社の斡旋による競争入札で、もっともリーズナブルな価格を提示した建設会社の施工により完成。最先端をいく本学らしい斬新な外観で多機能の校舎となり、地域のランドマークにもなっています。

ここで、地元の方々との私の交流について少し触れたいと思います。趣味を生かして囲碁の公開講座を担当。毎年、高齢者が多いですが「商大さん、頑張ってるね」「よくテレビでみるよ」と笑顔でお出でいただき、コロナ問題で中断するまで続けました。そんなご縁もあって、「上毛新聞」の囲碁覧に何度か私の対局譜を掲載いただくようになり、今年は「新春囲碁対局」に取り上げてもらいました。

## 学園の末永い繁栄を願って

ひと口に35年ですが、その中身は濃く充実した時間でした。森本純生学園顧問、森本淳理事長はじめ教職員、同窓会、後援会、多くのご関係のみなさま、大変お世話になり心から感謝を申し上げます。学園の益々のご繁栄をお祈り申し上げ、退任のご挨拶と致します。

## 大学トピックス

## 高崎商科大学「大学院商学研究科」について

高崎商科大学大学院 商学研究科長

竹上 健 Takeshi Takegami

最初に、高崎商科大学大学院の今日までを簡単に記します。本学大学院は、2006（平成18）年4月に、高崎商科大学大学院 流通システム研究科 流通システム専攻（修士課程）として開設されました。その後、2007（平成19）年4月、流通システム研究科に教職課程 高等学校教諭専修（商業）が設置されました。また、2010（平成22）年4月に高崎商科大学 流通情報学部 流通情報学科が商学部 商学科に名称変更されたことにより、2011（平成23）年4月には、流通システム研究科 流通システム専攻が商学研究科 商学専攻に名称変更され、今日に至っています。

本学大学院では、育成する人材目標を達成するために大学院生それぞれの興味や関心事項、修士課程修了後の希望進路などに応じて、専門科目を体系的に履修できるよう配慮されており、下表に示すように、4つの履修モデルコースが設定されています。また、受験に際しては、あらかじめ「事前審査」を受けることが条件となっています。「大学時代の研究内容」「大学院で希望する研究内容」ととも

表 商学研究科の4つのコース

<b>① 流通・マーケティング担当リーダー養成コース</b>
流通・マーケティングに関する基礎知識を有し、経営者の視点に立ってマーケティング戦略を計画立案し実施できるマーケティング管理者を育成
進路：流通業界、物流企業、一般企業のマーケティング企画調査業務など
<b>② 情報ビジネス・情報システムの専門家養成コース</b>
ITビジネス分野において、情報システムを活用するための基礎的な知識とかつ専門的なスキルを修得。経営トップとの間で確かな橋渡し機能を果たせる人財を育成
進路：流通業界、物流企業、一般企業のシステム管理及び開発業務、通販やネットワーク販売企業の企画調査業務など
<b>③ ビジネスリーダー・起業家養成コース</b>
グローバル時代を先導できる起業家のスキルやノウハウの修得を目指すとともに、経営哲学を踏まえた戦略的マネジメントを構築できるリーダーを育成。それに関する研究指導も行う
進路：サービス業や情報起業などの事業企画・分析業務など
<b>④ 会計・財務の専門家養成コース</b>
高度な能力を持つ会計財務の専門家を育成。マネジメントの視点から会計財務分野を分析し、検討しえる基礎能力を養成するとともに、将来的な問題点を発見・解決できる能力を高める
進路：税理士事務所、会計事務所、ファイナンシャルプランナー業務など

に、事前審査申請書を申請期間内に提出する必要があります。大学院における特別演習Ⅰ・Ⅱの指導を希望する担当教員と、研究の希望や修了後の将来計画などについて、事前に面談を行ってから入学試験を受験するといった制度です。なお、4つのコースは現在、2024年度募集に向けて見直しが検討されています。

現在、本学大学院には2年生2名、1年生1名の3名が所属しています。その3名の学生の研究成果の発表の状況を紹介します。下図の(a)(b)は、2022年12月に開催された院2年生の「修士論文発表」の様子を示しています。約2年間に渡る研究成果をプレゼン資料にまとめて、本学関係者を前にして成果発表を行っている際の状況です。約15分間でプレゼンを行った後、出席者からコメントやアドバイスをを受け、トータル約30分の発表を行っています。この後、1月に修士論文を提出し、2月には主査・副査による修士論文最終試験が課せられます。

図の(c)は、院1年生が都内の大学において、ハイブリッド形式で行われた研究会で口頭発表している様子を示しています。2023年2月には2年生の発表と同形式で中間発表を行うこととなります。

2023年度は入学定員5名を超える7名の入学者が予定されています。高崎商科大学大学院の今後の益々の発展を期待するところです。



(a) 院2年生の修士論文発表①



(b) 院2年生の修士論文発表②



(c) 院1年生の研究会での発表

図 本学大学院生の成果発表

## 短期大学部トピックス

## 「IPPO プロジェクト」に参加して

高崎商科大学短期大学部 国際交流委員長

清水 真紀子 Makiko Shimizu

「国際×ビジネス」などの2つ以上の能力を活かしたマルチスキル型人材を育成するために、本学国際交流委員会が実施している海外プログラム、その名も「IPPOプロジェクト」。今回、このプロジェクトに附属高校時代から参加し、持ち前の行動力と抜群の統率力で活躍をしてくれた英語・編入コースの高橋紬さんの活動を紹介いたします。1年次ではプロジェクトマネージャーとして中国、ベトナム、日本人の先輩学生を束ね、企画立案からイベント開催まで、長期に渡る「多文化共生プロジェクト」を成功させました。2年次ではベトナムのフンドン大学で3週間、日本語を教えるアシスタントとしてインターンシップにたった一人で参加し、ひと回り大きく成長して帰国しました。英語学習も入学当初から週に1回、English Commons (授業外での英語補習プログラム)に通い、コツコツと学修を進め、先日のTOEIC L&R testでは初受験にも関わらず640点というハイスコアを出しました。まさにマルチスキル型人材であり、文部科学省が最も育成に注力している「持続可能な社会の担い手」になってくれることは間違いありません。プロジェクトに参加したからこそわかった「気づきや学び」を高橋さんに共有していただきます。



高崎商科大学短期大学部  
英語・編入コース  
高橋 紬

私は、二年間の短大生活で海外プログラムに積極的に参加をしてきました。一年次に参加をした「多文化共生プロジェクト」では国際社会にお

ける多文化共生を留学生とともに考え発信を行いました。プロジェクトでは、言語の壁や習慣の違いから何度も挫折しそうになりました。ただ、この困難こそが多文化共生で起こりうる問題であると捉え、連絡を取る時はやさしい日本語を使ったり、会話しやすい雰囲気を作るためにリアクションをはっきりと表すことを心がけました。また2年次では「ベトナムインターンシップ」に参加をしました。現地での友人やインターンシップ先の先生に、ベトナム人はどんな性格が多いのか、ベトナム人が誇れる自国の文化とは何かなど自分からたくさん質問をしました。

2つのプログラムで共通して学んだことは、日本人視点

のみで考えるだけでなく様々な国の人々の声に耳を傾ける体制を作っておき、自分のできる範囲で適応していくことが大切だということです。私は、海外の人と関わるときや海外へ行ったときに常に日本の文化や価値観で物事を考えてしまっていました。もちろん日本の文化は素晴らしく受け継いでいくべきものであると思っています。しかし現在では、日本で生活していても様々な国籍の人を見かけることが多くなったためあらゆる人々にとって安心して過ごしやすい環境を作る必要があると思います。そのためには、様々な意見をともに共有し合い、より良い環境を作ろうとお互いが努力していく必要があると考えています。



◀ 英語翻訳プロジェクトに参加し、私の名前が載った市販用カードゲーム

▶ フォンドン大学にてインターンシップ



## 2022年度

## 高崎商科大学・高崎商科大学短期大学部 後援会役員

会長	松沢 齊	参与	森本 淳 (理事長)
副会長	山崎 松恵	参与	淵上勇次郎 (学長)
副会長	若林 啓友	参与	森本 圭祐 (法人本部長)
理事	栗原 信幸	参与	加島 勝一 (事務局長)
理事	馬場 弘隆	参与	松田 禎史 (総務課長)
理事	宮嶋 正	参与	遠藤 康生 (教学課長)
監事	上野 光子	書記	高野 卓子 (事務局)
監事	小柏千亜紀	書記	内山 淳 (事務局)
		書記	有坂 祐輔 (事務局)
		書記	田村 真吾 (事務局)



## 附属高校トピックス

### 土曜講座開講 ～主体的で多様な学びの場～

高崎商科大学附属高等学校 教頭

大澤 香代子 Kayoko Oosawa

高校では、今年度の入学生から新学習指導要領に基づいた新カリキュラムによる教育が始まりました。新学習指導要領では、「知識・技能の習得」・「思考力・判断力・表現力の育成」・「学びに向かう力・人間性の涵養」が柱となり、各教科の学習内容や学び方も大きく変わりました。

そこで、本校では、昨年度まで実施していた土曜日の授業を廃止して、隔週で「土曜講座」を開講し、生徒が自分にとって最も必要な学びを自ら考え選択する機会を提供することとしました。各教員が講座内容と実施時間を設定し、それらがまとめられたリストから、生徒が受講を希望する講座を選択し、担当教員に申し込みます。講座数は前期・後期で135講座、延べ申込者数は約1200人に上りました。

講座内容は、各教科の学習到達度に応じたレベル別講座や検定対策など学力向上を目的としたものから、生徒の趣味や関心に関連する教養講座的なものまで多岐にわたります。

そして、これらの講座には、通常の授業にはない利点としてふたつのことを期待しています。



数学講座

まず一つ目は、「主体的な学び」の場を提供できることです。通常の授業は学校が定めた時間割に従って実施され、教師の説明を聞く受け身的な学習が主となります。学習内容や速度が必ずしも一人一人に合っているものではありません。

しかし、土曜講座は、自分が学習内容やレベルを選択していることから、明確な目的意識をもって段階的に着実に理解を深めることができます。さらに、学年やコースに関係なく選択できることから、同じ教室に3年生・2年生・1年生が混在し、コースも特選・特進・進学・総合ビジネス科の生徒がいることになります。普段なら決して机を並べることのないメンバーと学ぶことで、刺激や競争心が生まれ、さらなる学習意欲の向上につながる事が期待されます。

二つ目は、「少人数での多様な学び」の機会を提供できることです。土曜講座では、申込人数が数名であっ



小論文対策

ても実施しますので、大学入試の小論文指導や過去問対策では、一人一人の能力やニーズに合わせた徹底した個別指導が可能となります。

また、通常授業では取り扱えないような、趣味や娯楽に関連した講座も開講しています。例えば、近年、女子高校生の間ではK-popが圧倒的な人気を誇り、韓国語を学びたい生徒が多くいることから、商科大学の金先生にお願いして「韓国語講座」を実施し好評を得ました。



韓国語講座

また、土曜日の午前中を使って、美術館や博物館を訪問したり、テーマを設定した探究活動に伴うフィールドワークに出かけたりするのも自由に時間をとれる土曜講座ならではの体験となるでしょう。

さらに、土曜日の学びの場は、土曜講座だけではなく、部活動に参加して、体力や技術力を向上させることや仲間とのつながりを通じて人間性を養うこと、ボランティア活動や様々な課外活動に参加して、知見を広めたり社会



文学散歩

貢献したりすることも貴重な学びの場であると考えています。日頃の休息に充てるのも大切なことでしょう。

生徒一人一人が、時間を有効活用し、大いに学び、体験し、楽しんでくれることを望んでいます。

#### 2022年度父母の会本部役員 (部活動後援会本部役員)

会長	中嶋 勝利 (F3-11)	書記	山岸 千冬 (F2-1)
副会長	水 井 悟 (F3-9)	書記	下 田 寛太 (事務室)
副会長	神 宮 美和子 (F2-8)	会 計	原 田 千佳子 (F3-7)
副会長	中 林 桂 (F1-2)	会 計	藤 田 由美子 (S2-1)
書 記	徳 井 直 機 (F3-6)	会 計	板 垣 哲 平 (事務室)

## 佐藤幼稚園トピックス

## 高崎市花いっぱいコンクール 市長賞に輝く

高崎商科大学佐藤幼稚園 園長

中村 登美子 Tomiko Nakamura

高崎市で緑化の啓発と教育施設における緑化環境の向上を図るため、市内小・中学校、幼稚園、保育所（園）等を対象に、花と緑に満ち、安らぎと潤いのある花壇等への取り組みについて募集を行っている花いっぱいコンクールに今年も応募しました。四季折々の色とりどりの花で花壇がいっぱいになるように、以前は父母の会で有志を募り、除草やチューリップの球根の植え付けなど環境整備に協力をいただいておりますが、コロナ禍となり現在は職員が暑い夏にも雑草をとり、水やりも欠かさずしてまいりました。緑化への取り組みとして、ビオラが咲き終わる5月、今年も年長児が観音山ファミリーパークの「花さかキッズ」事業に参加し、ポットにマリーゴールドの種を蒔き苗に育て花壇への定植を行いました。観音山ファミリーパークへも年長児が園バスで定植に行き、苗の3分の1は近隣の中央小学校へ寄贈もしました。また、年長組がアサガオ、年中組がホウセンカ、年少組がヒマワリを育てました。今年度は6月の40度越えに耐えたジニア（百日草）が10月の運動会まできれいに咲いていて審査員の方の目を引いた事と思



います。しばらく花いっぱいコンクールの奨励賞でしたが、平成29年度に教育委員会教育長賞に選ばれたことが励みとなりその後、2度の教育長賞、そして市議会議長賞、今年度は見事最高賞である市長賞に輝きました。これも幼稚園の花壇を園児の為により良



幼稚園の花壇

マリーゴールドの植え付け

い環境にしようと努力をした賜物と自負しております。審査の講評は例年以上の猛暑で苦労も多かった中でも、種から育て限られた広さの中、花壇いっぱい多くの花が咲いていたこと、花壇の他プランターなども積極的に活用し、季節ごとの花が楽しめるような取り組みで寄せ植えや配色・色のバランスが良く考えられた花壇であったこと等、道行く人々も花を楽しめるようにプランターを配置するなど、様々な工夫が見られ、美しさやデザイン性には目を見張るものがありとても素晴らしかったとお褒めいただきました。今後も子ども達の自然や緑、花を愛する心を養い花と緑のあふれる幼稚園にして行きたいと思

## ハンカチ染め体験

年長組が9月にファミリーパーク（クラフト工房）で実施しているマリーゴールドの花でのハンカチ染めを体験しました。種撒きをして育った苗を花壇に植え花を咲かせ、その花を使って煮汁を作り染物をする半年かけての一連の自然体験は、子どもの心身の健全な発達のためには必要なことと思います。染物のハンカチはそれぞれの家庭で割りばしや輪ゴム、ビー玉等を使って煮汁に入れる準備をして持っていました。「スマホで調べた」と言って星の形が染め上がるようにしてきた子もいました。親子でのこんな時間も良かったのではないのでしょうか。来年も年長児には子どもの感性を優しく刺激してくれる経験をさせてあげたいと考えています。



## 2022年度 佐藤幼稚園 父母の会委員

会 長	山 浦 祐 子	広報委員長	高 橋 愛
副 会 長	横 田 昭 子	広報委員	覚 知 聖 子
副会長・書記	吉 田 味 希	教養委員長	松 尾 典 子
書 記	岡 本 絵 里	教養委員	岩 井 紀 子
会 計	田 上 祐 美	会計監査	清 水 友 美
会 計	新 井 結 佳	会計監査	山 下 幹 子



# 附属高校トピックス

## 2022年度 高校総体結果

### 10競技 関東大会出場

#### 空手道部 女子総合優勝(31年連続31回目)・男子総合優勝(2年連続6回目) 男女関東大会出場

- |                 |          |                 |          |
|-----------------|----------|-----------------|----------|
| 女子団体組手 優勝       | 女子団体形 2位 | 男子団体組手 優勝       | 男子団体形 3位 |
| 女子個人組手          |          | 男子個人形           |          |
| 2位 石井美羽(前橋七中)   | 関東大会出場   | 2位 浅川奏我(長野仁科台中) | 関東大会出場   |
| 3位 千本松海鈴(埼玉宮内中) | 関東大会出場   | 5位 徳井亮介(群馬中央)   |          |
| 3位 谷口優衣(愛知南山中)  | 関東大会出場   | 男子個人組手          |          |
| 5位 井上日菜(伊勢崎境北中) |          | 3位 田嶋歩希(太田南中)   | 関東大会出場   |
| 女子個人形           |          | 5位 荒井太輝(箱田中)    |          |
| 7位 渋谷瑠良(埼玉行田中)  |          |                 |          |



空手道部

#### アーチェリー部 女子団体 優勝(25回目)・男子団体 優勝(15年連続15回目) 男女関東大会出場

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 女子団体 優勝       | 男子団体 優勝       |
| 女子個人          | 男子個人          |
| 優勝 堀口真歩(群馬南中) | 優勝 飯島良介(本庄西中) |
| 2位 堀江理奈(片岡中)  | 2位 野尻健雄(中尾中)  |
| 5位 山室舞佳(矢中中)  | 4位 上原 涼(藤岡北中) |
| 6位 角田彩魅(箕郷中)  | 5位 森國智大(群馬南中) |
|               | 6位 富澤僚亮(榛名中)  |



アーチェリー部

#### テニス部 男子団体 優勝 男子関東大会出場

- |                        |                      |
|------------------------|----------------------|
| 女子団体 ベスト8              | 男子団体 優勝              |
| 女子個人シングルス              | 男子個人シングルス            |
| ベスト64 千川華恋(富士見中)       | 優勝 大野真寛(前橋東中)        |
| ベスト64 高橋花菜(吉井西中)       | 2位 橋本字弘(倉賀野中)        |
| ベスト64 新井亜美(箕郷中)        | 男子個人ダブルス             |
| 女子個人ダブルス               | 優勝 大野(前橋東中)・澤入(藤岡東中) |
| ベスト16 新井(箕郷中)・高橋(吉井西中) | 2位 富田(藤岡北中)・橋本(倉賀野中) |
| ベスト32 千川(富士見中)・新井(八幡中) |                      |
| ベスト32 野口(箕郷中)・後藤(新町中)  |                      |



テニス部



フェンシング部

#### フェンシング部 男女関東大会出場

- |                 |                |
|-----------------|----------------|
| 女子団体 2位         | 男子団体 2位        |
| 女子個人フルール        | 男子個人エペ         |
| 3位 大堀紗理七(榛名中)   | 優勝 松本 朔(藤岡北中)  |
| 4位 植木あゆみ(木瀬中)   | 3位 小島晁太(中尾中)   |
| 女子個人エペ          | 4位 高井佑都(榛名中)   |
| 2位 榎坂菜々華(松井田南中) | 男子個人サーブル       |
| 女子個人サーブル        | 4位 木村珊瑚(太田生品中) |
| 3位 中里由加(倉賀野中)   |                |

#### バレーボール部 女子関東大会出場

- 女子 3位(関東大会出場 28回連続29回目)
- [出場メンバー] 榎本紗来(孺恋中), 尾沼光莉(御代田中), 高橋りかこ(箕郷中), 市場日和(孺恋中), 金田莉奈(富士見中), 鈴木佑莉亜(軽井沢中), 山内来海(甘楽中), 石川知奈(八幡中), 柄澤茉桜(南八幡中), 森梓朝(深谷南中), 小林梨里花(藤岡西中), 望月咲幸(塚沢中), 伊藤心優(片岡中), 武井蒼依(八幡中), 西澤美優(上田第三), 清塚なつき(藤岡小野中), 村上真彩(清流中), 中島瑠音(浅間中), 中野穂(箱田中), 佐藤花穂(八幡中), 飯塚花音(深谷中), 高橋ひとみ(箕郷中), ランドルアリサ(昭和中), 市川夏生(富岡西中), 内山和音(富岡北中), 中川陽音(群馬南中), 茂木乃夢(甘楽中), 板倉鈴(東北中), 中島綾夏音(塚沢中), 永田敏野(藤岡東中), 柳澤愛月(大間々中), 山田葉月(富岡南中), 佐藤萌愛(松井田南中), 國分利菜(榛名中), 若狭悠帆(塚沢中)

#### バドミントン部 男子関東大会出場

- |                  |                    |
|------------------|--------------------|
| 女子団体 ベスト8        | 男子団体 第3位           |
| 女子シングルス          | 男子シングルス            |
| ベスト8 根岸愛理紗(吉岡中)  | ベスト8 三田史向(埼玉行田長野中) |
| ベスト16 岡崎瑠那(前橋東中) | ベスト8 小林蒼暉(八幡中)     |
| ベスト32 鈴木彩瑛(前橋一中) | ベスト16 荻原大輝(八幡中)    |
|                  | ベスト16 立石柚月(埼玉上里中)  |
|                  | ベスト32 吉岡来樹(大類中)    |



バドミントン部



**少林寺拳法部 女子関東大会出場**女子単独演武 8位 大関 栞里 (群馬中央中) **関東大会出場****剣道部**女子団体 ベスト8 敢闘賞  
女子個人 池田結南 (倉渕中) ベスト32  
男子団体 2回戦  
男子個人 富沢聡太 (榛名中) ベスト32**卓球部**女子団体 1回戦  
女子シングルス 出場  
女子ダブルス 出場  
男子団体 ベスト32  
男子シングルス  
ベスト64 神谷颯(群馬中央中)  
男子ダブルス  
ベスト64 富樫(八幡中)・加部(八幡中) 金井(松井田北)・神谷(群馬中央中)  
梅本(藤岡東中)・星田(箕郷中)**サッカー部**女子 予選リーグ首位通過  
決勝トーナメント1回戦 ベスト8  
男子 1回戦敗退**バスケットボール部**女子 2回戦敗退  
男子 1回戦敗退**硬式野球部**

第74回 春季関東高校野球群馬県予選 3回戦 (ベスト16)

**ペップアーツ部**第5回 カラーガードマーチングパーカッション全国大会  
カラーガード高校部門 銀賞  
JAPAN CUP 2021  
カラーガード部門 (全国大会) 第5位

ペップアーツ部

**2021年度・2022年度 文化部 活動結果****放送部**第18回群馬県高等学校放送コンクール  
ビデオメッセージ部門 最優秀賞 東京総文出場(8月)  
オーディオピクチャー部門 最優秀賞 東京総文出場(8月)  
第69回 NHK 杯全国高校放送コンテスト群馬県大会  
テレビドキュメント部門 ラジオドキュメント部門 優良賞 全国大会出場(7月)

放送部

**演劇部**群馬県高等学校文化祭2021演劇専門部大会県大会 最優秀賞・創作脚本賞  
第57回関東高等学校演劇研究大会 優良賞

演劇部

**吹奏楽部**

第63回群馬県吹奏楽コンクール 銀賞

**書道部**

第36回全国学生書き初め展覧会 優秀特選 岩崎 空奈 (並榎中)



文芸部

**文芸部**第45回全国高等学校総合文化祭(わかやま大会) 文芸詩部門 文化連盟賞  
短歌部門 文化連盟賞 小板橋彩花(安中一中)  
第22回関東地区高校生文芸大会(ちば大会) 出場 尾関愛未(榛名中)・小板橋彩花(安中一中)

# 学園情報

## 学園全体

### 学園表彰 「永年勤続表彰」

2022年4月1日より、新たに「学校法人高崎商科大学職員表彰規程」が施行されました。この規程は、学園記念日または退職日において本学園での勤続期間が25年に達した方を表彰し、心身のリフレッシュのため連続する3日間の休暇（リフレッシュ休暇）を取得していただくというものです。今回は本学園の教職員8名が表彰され、11月30日には大学にて表彰式を行いました。表彰された右記の方々には、森本理事長より表彰状と金一封、祝辞が贈られました（今年度は施行開始年度であるため、勤続年数25年以上の方も表彰の対象となっております）。



#### 大学



小原 弘道 氏



鈴木 昭彦 氏



工藤 幸一 氏



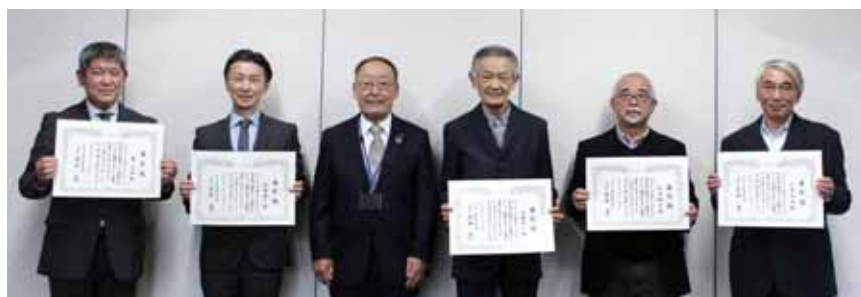
加島 勝一 氏



松田 禎史 氏



藍 正弘 氏



#### 高校



二宮 寛介 氏



蜂須 和伸 氏

## 大学

### 経理研究所

#### 公認会計士試験合格者8年連続輩出、税理士試験科目合格者も

##### 【公認会計士試験について】

2022年度公認会計士試験の合格発表が2022年11月18日に行われ、本学商学部会計学科より在学生3名（4年生1名、3年生1名、2年生1名）が合格しました。今回の合格者輩出で、本学から8年連続で現役大学生による合格者を輩出したことになり、8年間累計の現役合格者は30名に上ります。また、論文式試験の受験資格を得るための1次試験の位置づけにある短答式試験においては、過去8年間累計で40名が合格しています。

※2022年度公認会計士試験の合格者は全体で1,456名であり、合格率は7.7%。

##### 【税理士試験について】

2022年度（第72回）税理士試験においては、簿記論10名、

財務諸表論10名が合格しました。本学の合格率は90.9%で簿記論、財務諸表論ともに全国を大きく上回る合格率となりました。

簿記論：本学90.9% 全国23.0%

財務諸表論：本学90.9% 全国14.8%



## 理事・評議員・監事 2022年度 学校法人高崎商科大学

理事長・評議員 森本 淳  
理事・評議員 森本 圭祐  
理事・評議員 洲上勇次郎  
理事・評議員 安齊 義宏

理事・評議員 松沢 斉  
理事・評議員 山端 耕之  
理事・評議員 中村登美子  
監事 加藤 勝二  
監事 中島 順子

評議員 吉田広二郎  
評議員 蟻川 順子  
評議員 杉本ゆかり  
評議員 丸山 正悟

評議員 加島 勝一  
評議員 築 雅之  
評議員 竹上 健  
評議員 中村 雅典



## 高校

## 【ユネスコスクール推進部会】

## 「ユネスコスクール・キャンディデート承認校」としての活動について

本校は、国立宮城教育大学のご指導ご助言のもと、ユネスコスクール加盟に向けてのチャレンジ期間を終え、ユネスコ国内委員会の手続きを経て、昨年1月にユネスコスクール・キャンディデート承認を頂き、国内におけるユネスコスクールのネットワークへの加入や活動が可能になりました。現在、正式加盟（承認）に向けての最終手続きおよび登録作業継続中の状態です。

今年度実施した主な活動や取り組みは、今年で参加3年目を迎えた、「ユニクロ・gu 届けよう服のチカラプロジェクト2022」、第14回ユネスコスクール全国大会/ESD研究大会オンライン参加、2～3カ月ごとに開催されるユネスコスクール・オンライン意見交換会などです。

また、いのBEN2022やvege de マリアージュ等への高校生の参加、探究の時間における高大接続連携事業は、正式加盟後も、本校ユネスコスクール活動の柱になると考えております。

2023年度は、3年間途絶えていたアメリカホームスティプログラムや交換留学、特別進学国際コースを中心としたグローバル・スタディーズ・プログラム等、国際力向上に向けたプログラムの充実を念頭に置き、コロナで制約を受けていた活動を徐々に再開して行こうと考えております。 教務主任 井出 聖和



vege de マリアージュ



服のチカラプロジェクト

## 高校

## アーチェリー部

## 成年男子国体2位

令和4年10月8日～10日まで栃木県那須烏山市で行われた国体アーチェリー競技に本校卒業生3名（大塚謙史〈平成21年度卒業〉・森田伊心〈平成27年度卒業〉・市川遼治〈平成28年度卒業〉）による群馬県成年男子チームが出場しました。

インターハイなどと違い、国体はすべての県に出場権が与えられるわけではなく、関東地区で予選（関東ブロック大会）2位に入らないと出場することができません。しかも関東にはアテネオリンピックで銀メダルを獲得した選手や、ナショナルチームでも活躍している選手もあり、予選を通過するのも非常に大変な状況でした。そんな中、本国体でも決勝トーナメントにぎりぎりの8位で滑り込み、一回戦で予選1位の山口を破ったのを皮切りに準優勝することができました。それぞれ仕事をしながらわずかな時間を練習にあてて頑張っています。今後の活躍にも期待しています。 アーチェリー部顧問 佐藤 正樹



## バドミントン部

全国高等学校選抜  
バドミントン大会出場決定

## 高校

高崎商科大学附属高等学校男子バドミントン部は、今年度に入り関東大会学校対抗戦初出場でベスト8、インターハイダブルス個人戦初出場、全日本ジュニアダブルス個人戦初出場、関東選抜学校対抗戦初出場で準優勝・シングルスベスト8入賞、と今年度の関東大会以上の大会にすべて出場し結果を出すことができました。今回の関東選抜では、決勝では山梨県代表の山梨学院高校に敗れたものの準優勝となり、3月に岩手県で開催される全国高等学校選抜バドミントン大会に男子学校対抗で出場が決まりました。2年生中心のチームですが、1年生も含めて部員全員で勝ち取った結果だと思います。選手は目標を高く持って練習に取り組んでおりますので、目標達成のためにサポートしていきたいと思っております。今後も応援よろしくお願いします。

バドミントン部顧問 加賀美隼人



## 学園全体

## 同窓会のご案内

### ■高崎商科大学・高崎商科大学短期大学部

新型コロナウイルス感染症の影響により昨年度はオンラインにて実施した「ホームカミングデー」ですが、今年度は2022年10月22日(土)に対面にて実施することができました。2年ぶりの対面実施ということで、“今こそ母校へ集まってほしい”という思いから、4号館SKYを会場とし、卒業生の皆様に“大学の今”を感じていただきました。今回はホームカミングデー恒例のビンゴ大会をおこなったほか、新しい企画として教職員のインタビュー動画を上映しました。

仕事や子育てで忙しい方、遠方にお住まいでなかなかホームカミングデーや高崎に来られない方に少しでも大学時代の懐かしい思い出を感じていただけるよう、このインタビュー動画を同窓会公式YouTubeで限定公開しています(同窓会HP「巡彩-JUNSAI」から視聴できます)。

今後も状況をみながら同窓会活動や大学の教育活動支援をおこなってまいりますので、同窓会HP「巡彩-JUNSAI」含め公式SNSをチェックしていただけると嬉しいです。宜しく願い致します。

【高崎商科大学・高崎商科大学短期大学部  
同窓会事務局】

〒370-1214 群馬県高崎市根小屋町741  
TEL 027-347-3399



同窓会公式  
アカウント



ホームページ  
「巡彩」



Instagram



Facebook

### ■高崎商科大学附属高等学校

- ・令和5年6月3日(土)、3年ぶり同窓会総会開催予定
- ・令和5年度同窓会事業で、前回は好評でしたマイボトル(生徒デザイン)を進呈予定

【高崎商科大学附属高等学校  
同窓会事務局】

〒370-0803  
群馬県高崎市大橋町237-1  
TEL 027-322-2827



ウォーターボトル

### 「コアラくらぶ」(親子登園)のご案内

幼稚園

※ご利用希望の方は、あらかじめ登録が必要です。

本園では、「保護者の方同士の楽しい子育て交流を計り、親子で遊べる機会を園で」と『コアラくらぶ』(親子登園)を開設しております。毎年多くの親子の皆様にご入会をいただき、「幼い時から良質な教育を」とお考えの保護者の方々に喜ばれております。是非多くの方々に『コアラくらぶ』にご入会いただき、就園前の小さな社会生活の第一歩を親子で体験していただきたいと思っております。

#### 2023年度・コアラくらぶ利用案内

- クラス 年齢でクラスを分けております。  
Aクラス…本幼稚園入園を前提としたクラスです(水曜日)  
コアラくらぶ継続親子及び  
R2年4月～R3年3月生まれの親子  
Bクラス…本幼稚園入園を前提としたクラスです(金曜日)  
R3年4月生まれ～R4年3月生まれの親子
- 場 所 佐藤幼稚園 お遊戯室
- 時 間 10時30分～11時30分まで
- 人 数 A・Bクラスそれぞれ20組程度
- 費 用 1回400円を参加毎に集金いたします。
- 申込期間 随時、先着順受付
- 受 付 申込書に必要事項を記入し直接園事務室にお申し込みください。詳しくは園事務室にお問い合わせください。
- 持 ち 物 親子共、動きやすい服装でお越し下さい。  
子：上履き・タオル・お着替え・帽子  
親：室内履き(飲み物をご持参ください)

■問合せ先 高崎商科大学佐藤幼稚園

〒370-0803 高崎市大橋町18-1 TEL 027-323-9512

学園広報誌「商大」No.10 2023年2月28日発行  
学校法人 高崎商科大学 法人本部総務課